

会 議 録

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

	所管課	文化・スポーツ振興課
会議名 (審議会等名)	第7回 嬉野市文化振興審議会	
開催日時	平成27年10月13日(火) 13:30～	
開催場所	嬉野市中央公民館 2F 視聴覚室	
傍聴の可否	可 ・ 不可 ・ 一部不可	傍聴者数 0人
傍聴不可・一部不可 の場合はその理由		
出席者	委員	一ノ瀬委員、江口委員、梶原委員、徳永委員、東島委員、 松尾委員、森委員、森山委員、山田委員
	事務局	文化・スポーツ振興課課長、同課副課長、同課主任、 同課主任、同係員
	その他	アドバイザー：佐賀女子短期大学 田口副学長 (株)ぎょうせいより2名
会議の議題	別紙のとおり	
配布資料	① 嬉野市文化振興基本計画(素案)H27.10.1版	
審議等の内容	別紙のとおり	

審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	文化・スポーツ振興課
議 題	文化振興計画素案および基本理念キャッチコピー案について		
内 容	文化振興基本計画素案および基本理念キャッチコピー案について各委員からの意見聴衆		
審議経過	委員	<p>ここに書いてあるキャッチコピーは現実的な案のような感じはしますが、『夢ある〇〇』とか、もう少し未来を見据えた感じが欲しいような気がします。P26に「文化イベント等を通じた観光、国際交流国際交流」の項目がありますが、嬉野の「オルレ」は国際交流の中には入れるのでしょうか？</p>	
	事務局	<p>現状では「オルレ」は観光目的が大きいですが、取組例の中に入ってくるのかな、と思います。観光と棲み分けるかどうかは、こちらの方でまた検討させてください。</p> <p>キャッチコピーについては、今日は1つに絞り込むところまでは考えておりません。今日いただいた案を再度集約して、事務局の方で最終的にキャッチコピーとしてまとめる予定ですので、この場でいろいろな意見をいただければ助かります。</p>	
	委員	<p>キャッチコピーがどこの地域でもあてはまるような言葉になる場合は、嬉野のものだとわかるように副題がいるのかどうかなど、意見をお願いします。</p>	
	委員	<p>P19の基本方針「嬉野ならではの文化の力を活かす」の隣の目標にキャッチコピーがくるならば、嬉野がかぶってしまうので必ずしも嬉野という言葉にこだわらなくていいと思います。</p>	
	委員	<p>キャッチコピーの使い方によって、嬉野の文字を入れた方がいいかどうか変わってきます。</p>	

	委員	<p>私は「うれしいまち 嬉野」のキャッチコピーを書きました。まず頭に浮かんだのは山頭火の「嬉野はうれしいところです」という言葉です。「湯どころ 茶どころ 孤独の旅人が草鞋をぬぐのによいところです」が好きで、ただそのイメージだと温泉だけになってしまっていていつも同じなので、宇宙規模の広い視点に立って、連帯を求めて志を持ったひと作りをやっていけたらな、と大きくまとめた感があります。温泉とお茶は観光の大きな目玉ですが、それだけでは塩田地区も沈むし、文化を含めた全体的なイメージでという気持ちで書きました。山頭火も言っているように、嬉野という地名から「うれしい」という言葉を連想して欲しいとは思っています。</p>
	アドバイザー	<p>何のためにこういう事業を行うかと考えると、結局、人と人のつながり合いがめざすところにあると思います。私が考えてきた案は「わき上がる感動とところところをつなぐ町」「文化創造の感動でところところをつなぐまち」「文化創造で市民の感動と感動がつながるまち」です。「わく」というのは温泉やお茶、感動につながり、わくわくする、わきあがる感情、そういう盛り上がりがあることと、大人が子供につなげていくとか「つながる」ことが大事だと思っこういった案を考えました。</p>
	委員	<p>嬉野というと、温泉 お茶をすぐ思い浮かべますがそれだけではいやだな、と思います。塩田を含めた歴史、文化というものがあるので、塩田津という言葉もあったほうがいいかなと思います。歴史、文化、豊か、育むはどこの地域にもある言葉なので、嬉野独自というと 湯の香漂うとか、歴史あるとか、先ほど出た、わきあがるとか人の気持ちが盛りあがる、とかそういった言葉も使ったらどうかと思います。</p>
	委員	<p>嬉野と塩田、文言が半分ずつ入るように検討をしてみてください。</p>
	委員	<p>塩田に住んでいる身として、お茶と温泉だけだとよそ者みたいな言葉になってしまうのは事実です。</p>
	委員	<p>私は「自然と資源を活かしたまちの実現」と書きましたが、何でもあてはまるような感じです。サブ説明必要かも知れないが、文章が長くなるのでわかりやすいさっとわかるようなキャッチコピーがいいと思いました。塩田は塩田川や山などの自然がきれいだし、嬉野のお茶畑もきれいで、温泉もあります。それで漠然としていますが、全部ひっくるめての言葉を使いました。</p>

	<p>委員</p> <p>委員</p> <p>事務局</p>	<p>塩田、嬉野の両方を表す言葉があまりなかったのも、逆に、施策の柱からキーワードは何だろうと見た時に「創造」「伝統をつなぐ」が全てにあてはまると思い、そこから「つなごう歴史 創ろう文化」としました。「文化の薫るまち嬉野」は嬉野だとわかるようにしたが、私は全国どこでもあてはまるようなキャッチコピーでもいいのかな、と思います。具体的な施策の中で独自性を出せばいいのでは、と思います。</p> <p>嬉野市としては自然豊かだという こういうニュアンスを入れた方がいいという気はします。ただし、自然にとらわれると文言が弱くなることもあります。逗子市のキャッチコピーは、うまくまとまっていると思います。</p> <p>キャッチコピー案については委員にいただいた意見を集約して決めさせていただき、それをまた皆様に提示したいと思います。パブリックコメントは 12/1～12/25 くらいに示して、次回はそれを反映したものをお示しします。</p>
<p>その他</p>	<p>※次回の審議会開催予定は 1/19（火）13：30～</p>	